

委員会の10年間の活動

昨今子ども達を取り巻く環境はこの10年間で大きく変化して来ました。ニュースでは、子どもに関する悲しい事件を数多く耳にするようになり、私達大人が子ども達とどの様に関わって行ったら良いのかを深く考えさせられます。そこで千代田区青少年委員会では出来るだけ沢山の子ども達と接する機会を設けたいと考え、平成19年から「ひがた探検隊」平成21年から「ポニー乗馬会」を主催して子ども達と触れ合ってきました。又、10年前から継続して発達障がいや特別支援に関する勉強会を行っています。これからも誰もが幸せになれる様な活動をめざして委員全員で努力していこうと思います。



2013年度 青少年委員会活動報告

- 2013年
- 5月 ひがた探検隊リーダー研修
ひがた探検隊(春の部 ひがた探検)
 - 6月 東京都青少年委員会連合会定期総会
中央ブロック定例会
管外研修(メレーズ軽井沢)
 - 7月 ひがた探検隊(夏の部 すだて漁)
 - 9月 中央ブロック研修大会
区長・教育長との懇談会
 - 10月 ひがた探検隊(秋の部 水を求めて)
 - 11月 中央ブロック定例会
ポニー乗馬会(和泉公園)

- 2014年
- 1月 成人の日のつどい(ホテルニューオータニ鶴の間(西))
中央ブロック新年会
 - 2月 東京都青少年委員60周年記念大会
 - 3月 ひがた探検隊(冬の部 海苔つみ)
- 注) 上記以外に毎月1回の定例会(8月以外)計11回

編集 中村 宗敬 湯本 友美 遠藤 仁
花輪里香子 太田 暢子 瀬谷 達郎
江間 千重 長島 里保 小田倉悦子
写真撮影 小野寺健志 (この10年間の写真は全て)
イラスト 谷 真理子

編集後記

青少年委員制度が発足されて60周年となりました。今号は記念号となります。50年から60年と振り返り、様々な行事や取り組みに関わっているのだと改めて実感しました。自分が青少年委員になるまでは、「青少年委員」は成人式や入学式・卒業式に出席する人…という位の認識しかありませんでしたが、実際活動してみると色々な行事に携わっており、今まで関わることがなかった方たちとの交流がもてたり、子ども達と一緒に活動することの楽しさを味わう事が出来ました。これからも諸先輩方の意志を継いで、子ども達のために、学校や地域の方々と共に楽しく活動していきたいと思ひます。(広報委員会 江間千重)

子どもたちの目が輝く街にするために青少年委員は働きます



千代田区

青少年委員だより

千代田区青少年委員会
子ども・教育部 子ども総務課

Vol. 43

2014.3

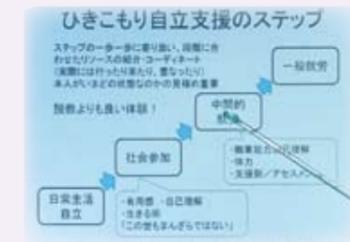
ホームページもご覧ください

千代田区 青少年委員会

検索

青少年委員制度60周年記念特集

平成16年度～平成25年度までの10年をふりかえって



CONTENTS

- ひがた探検隊 2
- ポニー乗馬会 3
- 研修報告 4
- 懇談会・ドッチビー大会 5
- 特集「成人の日のつどい」 6~7
- 青少年委員制度60周年記念特集 8~11
- 2013年度活動報告・編集後記 12

ひがた探検隊

～1年間を振り返って～

春

H25.5.19

『ひがたを歩く』

東京湾に唯一自然のまま残されている盤洲干潟。みんなでカニを追いかけてきました。

夏

H25.7.7

『スタテ漁』

天候にも恵まれ水着になって魚を捕まえました。班であなごつかみ大会もしました。



秋

H25.10.13

『山と海はつながっている』

源流を探して千葉県富津市、志駒川を探検。里山を歩き湧き水を見学。川では小さな生き物を探しました。旧環南小学校で地元のみなさんが作ってくれたお昼ごはんを食べました。おいしかったね。ごちそうさまでした。



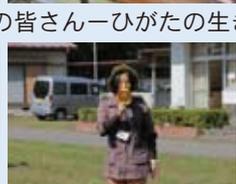
お世話になった皆さん



冬

H26.2.9

関東地方に降った45年ぶりの大雪。道路事情など危険回避のため、残念ながら中止になりました。



金田の海活性化協議会のご厚意によりH26. 3. 16に出前海苔摘み体験をします。

富津市志駒・山中の皆さんと千葉自然学校の皆さんーみんなが安全に探検ができるように準備してくれました。

遠藤ひがた探検隊長よりひとこと

都会で暮らす子ども達に自然体験をしてほしい、自然の恵みや水の大切さを教えたいとの思いから始まった自然体験「ひがた探検隊」。天候に左右されながらも、干潟の生き物の生態を観察し、すだて漁で魚やカニを捕り、その場で刺身にして頂きました。秋には海に流れ込む川の水の源流を見学し、冬には海苔摘みを体験しました。子ども達には楽しみながら、自然のつながり水の大切さを伝え、自然の恵みの有難さを少しでも実感してほしい。また子ども達も他校の生徒や異学年の生徒で組まれたグループで新しい友達を作り、それぞれの役割を担ってくれます。以前参加してくれた子ども達が中学・高校生となり、ボランティアリーダーとして参加してくれました。私たちも、自然を守る未来のリーダー達や大学生のボランティアリーダー達と共に、沢山の自然のことを学びます。



ポニー乗馬会

実施日：平成25年11月16日（土）

場 所： 和泉公園（和泉小学校となり）

主 催：千代田区青少年委員会 協 力：財団法人 ハーモニィセンター

晩秋の穏やかな日差しの中で、ポニー乗馬会を開催しました。千代田区全域からたくさんの親子連れが来場され、ゆったりとポニーや馬車に乗ったり、うさぎ・モルモット・ひつじやヤギたちにふれあい、子ども達のニコニコ笑顔があふれていました。

障がいのあるお子さんも何人か参加されて、少し時間をかけて乗馬療法を体験し嬉しそうにポニーに乗っていました。また、今回はGボール協会のご協力によって、初めてGボールのコーナーも設け楽しむことができました。Gボールにも療養の効果が有ると言われています。



ドキドキ
えさやりタイム



馬も羊ものんびりと



Gボールのコーナー



ほっ!和む~

ハーモニィセンターの皆様、和泉小学校の先生方や地域の方々にも朝早くからご協力いただき、5年目のポニー乗馬会も無事に開催できましたことを心から感謝いたします。神田地区での開催にもかかわらず番町地区から来場されて、「毎年楽しみにしています」との嬉しいお声をかけて下さった方もいました。今後も子どもたちが可愛い動物たちと触れ合える貴重な自然体験ができるようにずっと続けていきたいとの気持ちを新たにしました。また、障がいの有無にかかわらず、すべてのお子さんが楽しめる乗馬会にしていきたいと思ひます。



管外・管内研修

今年度もさまざまな講師の方をお招きして、日頃の活動を充実させるため研修会を行いました。

管外研修

発達障がい ー基礎からかわり、そしてその未来へー

講師：東京都自閉症協会 理事長 今井 忠氏 6月29日(土) メレーズ軽井沢 1F研修室

重度知的障がい自閉症であるご自身のお子さんを通して、障がい児とのかかわり方で心掛けていることや障がいを理解することの意味を教えてくださいました。私たちの思う幸せを押し付けられないことや、障がいの人を理解できることは他人や自分を理解する基礎を与えてくれるというお話には、当たり前だけど、大事なことを忘れていたと気付かされました。



今井先生を囲んで記念撮影



管内研修

子どもの面白い行動と好奇心への扉 ーちょっとした本物体験から好奇心のスイッチは入るー

講師：公益財団法人 日本鳥類保護連盟普及啓発室長 岡安 栄作氏 5月14日(火) 千代田区役所 4階401会議室

岡安さんの子ども達の興味を引き出して釘付けしてしまうお話にはいつも感心させられています。ご自身のボーイスカウト指導者としての経験からも、子どもたちと接する時の心構えを伺いました。



管内研修

千代田区の発達支援・特別支援教育を知る ーメッセージから千代田区の支援をもっと知ろうー

講師：児童・家庭支援センター所長 山下 律子氏 11月12日(火) 千代田区役所 4階401会議室
千代田区教育委員会指導課長 佐藤 興二氏

青少年委員自身が千代田区の発達支援・特別支援のことを理解するための勉強会を行いました。

DVD「自閉症の子どもたちーバリアフリーを目指してー」を見た後、講師の方から千代田区の特徴、具体的な指導例などを説明していただきました。



自閉症の子どもたちバリアフリーを目指してー 日本自閉症協会

1. 自閉症の子どもたち
2. 自閉症ってなに？
3. もっと知って自閉症のこと
4. 自閉症のある人への支援
5. 家族からのメッセージ



7月発行の「Message」の内容に間違いがありましたのでお詫びしますと共に訂正のお願いを致します。

2P NPO法人 リソースセンターONE 代表理事 上野芳枝先生 → 上原芳枝先生
3P 神田一ツ橋中学校 → 神田一橋中学校

区長・教育長との懇談会

9月10日(火) 千代田区役所 4階401会議室 午後6時30分～午後7時30分

出席者：石川区長・山崎教育長・依田学務課長・青少年委員

- テーマ：①小学校のクラス編成と区域外就学について
②「子どもの遊び場事業」の運営状況と今後の展望について
③千代田区巡回バスの運行について

今年度は、区長・教育長との懇談会を開催し、保護者や住民の立場から質疑応答を行いました。今後も青少年委員会は行政と区民との橋渡し役として活動していきたいと思っております。



ドッチビー大会

9月8日(日) 千代田区立スポーツセンター 午前9時～午後5時

第68回国民体育大会のデモンストレーション競技としてドッチビー大会が行われました。ドッチビーは、柔らかい素材で出来たディスクで競技する年齢性別を問わずに誰もが親しみやすく、且つ安全に楽しめるスポーツとして小学校を中心に普及が進んで来ています。当日は、東京都内の小学生24チーム528人が参加して白熱した攻防を繰り広げました。千代田区の小学校も8校11チームが参加し、麹町小学校の準優勝等みんな一生懸命に大会を盛り上げてくれました。また、応援に訪れた未就学児童やお年寄りにもドッチビーに親しんで貰おうと体験コーナーを設置し、青少年委員会からの有志が、対応に当たりました。参加頂いた方はどなたも楽しそうに体験していたのが印象に残りました。



中央ブロック研修会・定例会

東京都青少年委員会連合会 中央ブロック研修会

『特別支援 ー子どもたちへの理解と関わりー』

9月7日(土) 中央区役所8階大会議室 午後3時30分～午後5時30分

講師：白百合女子大学発達臨床センター 秋元 有子氏

講師からのメッセージ
保護者に対する支援は子と親とセットで考える。支援はサービスであり権利であるとわきまを。親も恥ずかしながらヘルプミーと心を開いて。自信を持って子どもの良いところを伸ばしてあげて欲しい。



定例会のようす

今年度の中央ブロック（港区・中央区・千代田区）定例会では新しい試みとして、3区のメンバー全員を8つのグループに分け、与えられたテーマにそってグループディスカッションを行いました。子ども達に対する同じ様な思いや、それぞれの区の特徴等熱心に語られ、有意義な時間が持てました。
実施日 6月21日(金)、11月21日(木)



中高生ボランティアについて



青少年委員って？



地域との関わり合いは？

成人の日のつどい

STORY

～君の物語が始まる～

いよいよ成人式ですね。
久しぶりに会う仲間と素敵な時間を過ごしましょう！
今年度のテーマは『STORY』です。

皆さんがそれぞれの素敵な人生のストーリーを
描けますように…

平成26年 1月13日
成人の日のつどい企画運営委員会



千代田区長挨拶
石川雅己氏



千代田区議会議長挨拶
嶋崎秀彦氏



選挙管理委員会会長挨拶
大井岳人氏



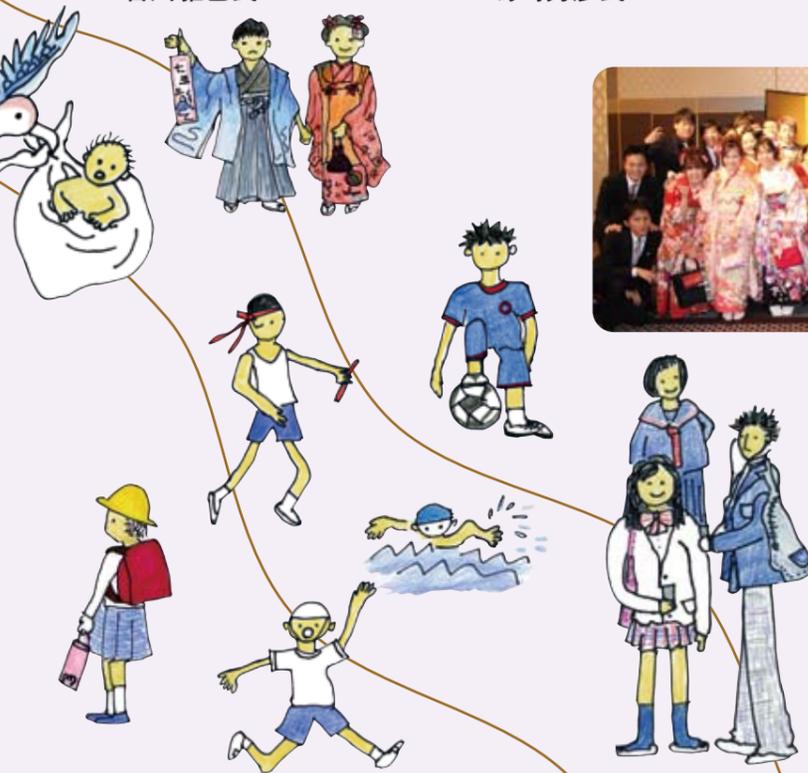
千代田区地球市民講座
国際協力体験事業講師
山崎唯司氏による講演



二十歳の宣言
新成人代表 高橋和之さん



企画運営委員



企画運営委員の皆さん

工内風雅さん

今回、成人式に運営委員として関わらせて頂くという貴重な経験をさせていただきました。そして無事、成人を迎えることができ良かったです。これからは成人であるという自覚をもち自分のSTORYを歩んでいきたいと思ひます。



片倉 睦さん

新成人として運営委員会に携わらせて頂き、初めは私達新成人に任せて頂けることが多く戸惑いもありましたが、本番に向けて司会進行という役目もあり一生懸命やらせて頂きました。当日はとても緊張しましたが、心に残る成人式になりました。



森田美礼さん

20歳という節目に、このような素敵な機会を与えて頂いたことに感謝します。成人式実行委員として、当日は司会の役目を果たすことができ、今振り返ると夢のような時間でした。これからはお世話になった、千代田区に少しでも貢献できるような人間に成長していきたいです。



高橋知之さん

今回、企画運営委員として成人式の企画に携わりました。二十歳の宣言や第二部のクイズなど、みんなで内容を考え練習し、本番を迎えるプロセスはとても面白かったです。普段は出来ない経験をさせていただきありがとうございました。



クイズ大会入賞者



青少年委員会会長挨拶



平成16年度～平成19年度会長 中川 典子氏



青少年委員会60周年、おめでとうございます。
青少年委員会の活動は委員の選出が各自治体によって異なるため、活動内容も少しずつ違うようです。
千代田区は、中央区、港区とともにブロックを形成していますが、千代田区が、学校推薦の委員が中心になっているのに比べ、子どものための活動をしている地域の団体から選出される他区の委員と、活動内容に違いがあることにはじめは驚きました。

千代田区の特徴は、公立学校の校長推薦によるメンバーが中心に集まっているため、学校の状況を情報交換しながら、子どもたちに、保護者とも学校とも違う立場で、「青少年委員としてできることは何か」を意識しながら活動を進めていたように思います。私の委員長在任中は、まだ一般的でなかったオープンスペーススクールのありかたについて学んだり、発達障がいについて勉強会を何度も開いたり、千代田区の子どもたちに、ひがたの魅力を知ってもらいたいという活動をしましたが、定例会、宿泊を伴う管外研修などで、熱い議論があちこちで展開されたことをなつかしく思い出します。
時代が変われば、取り上げたい問題も変わってくると思います。いつの時代にも、子どもたちの目線に立って、これからの子どもたちのことを考え、楽しく活動する青少年委員会であってほしいと願っています。
広報紙に掲げている、「子どもたちの目が輝く街にするために」青少年委員は働いてください。



平成22年度～平成23年度会長 宮澤 藤男氏



青少年委員制度発足60周年、おめでとうございます。
私はちょうど2年前まで、10年間在籍させていただきました。
委員になった時には、6年位在籍すれば充分だと思っていましたが、いろいろな事情が重なって満期までやることになりました。最後の2年間は会長という大役を任命され、東京都全地区の代表者の集まりである東京都青少年委員会連合会では研修委員長という私にとっては身分不相応の役まで務めてしまいました。

おかげでいろいろな地区の会長さん達との交流に恵まれ、青少年委員の地域での役割等について非常に勉強になりました。

千代田区の青少年委員会もこの10年間で活動内容が飛躍的に広がりました。年4回の「ひがた探検隊」や「ポニー乗馬会」「発達障がいに関する懇談会や勉強会」等が始まりました。これ以外にもさまざまな会合や活動があり、私の1年間のスケジュール表はかなり埋まってしまいました。

青少年委員は「ケースワーカー」ではなく「ソーシャルワーカー」のため活動内容が判りずらいことから、区民の方たちに「何をやっているか」を具体的にアピールしていくことが大切だと思います。

これからも「地域力」のリーダーとして活躍されることを期待してお祝いの言葉と致します。



青少年委員制度

発足60周年によせて

平成20年度～平成21年度会長 片岡 勝吾氏



青少年委員制度の発足60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。
私は平成12年4月に番町小学校から推薦を受け、10年間委員を致しました。任期四年目には50周年を迎えることになり、その年に広報委員長として記念誌発行の責任者にもなりました。あれからもう10年経つのだなあ感慨深いものがあります。委員在任中には委員会を取り巻く環境も大きく変化してきました。千代田・中央・港・新宿の四区が都連の中央ブロックというグループで活動をしていましたが、新宿区が青少年委員会制度を廃止し、中央ブロックは三区の活動になってしまいました。中央ブロックだけではなく都連の中でも委員会制度を廃止する地区が随分出てきました。委員会制度を維持するために今まで以上に活動を活発化させていく必要がでてきました。そして当時はまだまだ認知をされていなかった発達障がいをテーマに勉強会や講演会を行ったり、千葉県の大湊を中心として子供たちに

いろいろな自然体験をさせたり、千代田区内の公園を借りてポニーの乗馬体験をさせたりして自然に親しむプログラムを企画・実行してきました。子供たちを取り巻く環境はいまやゲームや携帯電話スマートフォン等の電子機器によるバーチャルな世界が日々の生活に入り込んできて、自然に向き合う場がどんどん失われていきそうで心配です。現在もプログラムは引き継がれており、各委員さんの得意とする分野で区内の子供たちの健全育成に役立たせていただき、人と人とのつながりを大事にする現実の世界を感じてくれる子供たちを育てていただきたいと思います。



平成24年度～ 会長 谷 眞理子氏



新人会長です。あっという間に2年経ってしまいました。私が委員になった7年前に自然体験が始まり、25人の小学生を千葉の海へ。その後50人に増え、この事業の担当をしてきました。私にとっては考え深い事業の一つです。千代田区の子供達の自然体験の必要を感じ、この事業を立ち上げられた先輩達の意志を継続する大事さを切に感じています。
しかし、年々千葉の活性化が進み、交通量が増え、木更津におおきなアウトレット・チェーン店が増え、なかなかオンタイムで動けなくなってしまったことが、現在課題となるところです。

もう一つ引き継ぐ事業、長年追及してきた発達障がいを知ろうと言う問題も同じく、まだまだ委員会として動くことが山ほどあります。他区の方たちも興味を持って下さるようになり、質問も受けるようになりました。10年一昔と言いますが、この10年の変化は、目覚ましいものだと思います。われわれ委員会も時代にマッチしたIT化委員会を目指し、我々のディスカッションの場のHPの充実・ひがたへ行った時に大活躍のオンタイム情報など、日々、発展努力しています。

まずは常にアンテナを動かし、情報を把握すること、委員の日々の勉強が大事なことと思っています。

「子どもの目が輝く千代田区」に向け、教育委員会・こども・保護者のパイプ役として、進んでいかななくてはいけないと思っています。青少年委員になったことで、お知り合いになった方たちがたくさんいます。その一つ、ザ・漁師の方達との写真。私の自慢です。



千代田区歴代青少年委員名簿

(平成16年～平成25年までの10年間)

No.	氏名	在任年度	備考
136	久保田富三郎	H6.4～16.3	
137	菊地稔夫	H6.4～ 8.3	番町小教員時
138	内藤恵子	H8.4～12.3	
139	渡邊嘉夫	H8.4～12.3	
140	瀧井秋子	H8.4～12.3	
141	中川典子	H8.4～20.3	
142	笹島繁	H8.4～12.3	
143	秋山亘	H8.4～18.3	
144	大坂隆一	H8.4～10.3	
145	大和田靖夫	H8.4～12.3	
146	中柴光義	H8.4～16.3	
147	増田俊彦	H8.4～09.3	千代田小教員時
148	額賀聡	H9.4～11.3	番町小教員時
149	菅沼進一	H10.4～16.3	
150	大塚幸子	H10.4～18.3	
151	伊藤裕一	H10.4～12.3	今川中教員時
152	大原正史	H10.11～14.3	
153	石川明	H11.4～13.4	富士見小教員時
154	菱田郁子	H12.4～16.3	
155	渡邊洋子	H12.4～18.3	
156	中島裕介	H12.4～14.3	
157	片岡勝吾	H12.4～22.3	
158	宮武敦子	H12.4～18.3	
159	瀬尾博之	H12.4～14.3	
160	藤代興里	H12.4～16.3	
161	小山千恵	H12.4～20.3	
162	藤原晶子	H12.4～20.3	
163	角谷宏次	H12.4～18.3	
164	金井茂	H12.4～18.3	
165	河合善弘	H12.4～14.3	九段中教員時
166	本田幸彦	H13.7～14.3	九段小教員時
167	津田真知子	H14.4～24.3	
168	江川雅子	H14.4～18.3	
169	八尾規子	H14.4～24.3	
170	宮澤藤男	H14.4～24.3	
171	加部佳子	H14.4～20.3	
172	佐々木達裕	H14.4～20.3	
173	南島隆	H14.4～15.3	お茶の水小教員時
174	久保田浩	H14.4～15.3	今川中教員時
175	小松原知司	H15.4～16.3	和泉小教員時
176	宮古登	H15.4～16.3	練成中教員時
177	大森郁子	H16.4～20.3	
178	小野寺健志	H16.4～	
179	林貞江	H16.4～18.3	
180	吉川秀隆	H16.4～18.12	
181	飯島敏一	H16.4～20.3	
182	太田三郎	H16.4～17.3	麹町小教員時
183	坂内聡	H16.4～17.3	麹町中教員時
184	森田賢	H17.4～18.3	お茶の水小教員時

No.	氏名	在任年度	備考
185	渋谷剛史	H17.4～18.3	九段中教員時
186	谷真理子	H18.4～	
187	高澤秀行	H18.4～18.12	
188	大森多喜子	H18.4～20.3	
189	佐藤広志	H18.4～24.3	
190	朝海直美	H18.4～19.8	
191	濱田敦	H18.4～22.3	
192	穴田美智子	H18.4～19.3	和泉小教員時
193	小林猛	H18.4～19.3	神田一橋中教員
194	遠藤仁	H18.7～	
195	泉恭子	H19.2～	
196	工藤充彦	H19.2～22.3	
197	竹之下由美子	H19.4～20.3	昌平小教員時
198	岩井亮介	H19.4～20.3	麹町中教員時
199	長岡昭比古	H19.9～24.3	
200	鈴木孝久	H20.4～	
201	江間千重	H20.4～	
202	湯本友美	H20.4～	
203	吉川秀隆	H20.4～23.1	2回目の委嘱(前回No.180)
204	河野宏明	H20.4～24.3	
205	小田倉悦子	H20.4～	
206	石井利之	H20.4～	
207	藤森香代子	H20.4～	
208	入江忠明	H20.4～22.3	
209	西角スミ江	H20.4～	
210	小松田良	H20.4～21.3	九段小教員時
211	関口清臣	H20.4～21.3	神田一橋中教員時
212	白井順子	H21.4～22.3	お茶の水小教員時
213	鈴木明典	H21.4～22.3	麹町中教員時
214	竹川真紀	H22.4～	
215	高橋和恵	H22.4～24.3	
216	中村宗敬	H22.4～	
217	今井律子	H22.4～23.3	番町小教員時
218	小林英一	H22.4～23.3	神田一橋中教員時
219	越渕尚子	H23.4～	
220	千藤理恵	H23.4～24.3	昌平小教員時
221	林健太郎	H23.4～24.3	麹町中教員時
222	花輪里香子	H24.4～	
223	瀬谷達郎	H24.4～	
224	岡田香保里	H24.4～	
225	柿内健介	H24.4～	
226	田中文代	H24.4～	
227	太田暢子	H24.4～	
228	長島里保	H24.4～	
229	山本英征	H24.4～25.3	和泉小教員時
230	富沢利之	H24.4～25.3	神田一橋中教員時
231	河野宏明	H24.6～	2回目の委嘱(前回No.204)
232	伊藤雅一	H25.4～	麹町小教員時
233	佐藤淳	H25.4～	麹町中教員時

青少年委員制度60年のあゆみ

(昭和28年～平成15年までは青少年委員制度50周年記念誌をご覧ください)

年度	千代田区青少年委員会・中央ブロック・都連合のあゆみ	青少年健全育成に関する国・都・区の動き、社会情勢
平成16	管内研修「発達障がい研修会」 管外研修千代田区立教育研究所の事業実績報告を伺う	イラク日本人人質事件、アテネ五輪開催 次世代育成支援行動計画策定(区) 東京都青少年健全育成協力員制度を設置
平成17	若者の『自分力を高める-大人のための十代サポート塾』の後援と研修参加 東京都青少年委員大会(千代田区公会堂)「青少年に豊かな心とよりよい環境を」 管内研修「医療現場からのレポート」「発達障がいを語る座談会」	愛知万博、つくばエクスプレス開業 次世代育成支援対策推進法施行、次世代育成支援推進会議設置(区) 心身障害・発達障害のある子どもへの支援検討会(区) 特別支援教育推進のため庁内検討会を設置(区) 緊急子ども安全対策区民会議開催(区) 青少年治安対策本部を設置(都)
平成18	管外研修「青少年委員にできることは何か」 管内研修「発達障がいのお子さんを見守る会座談会」 「発達障がいを見守る会座談会」 ブロック研修当番区「地域が子どもを育てる・・・子どもの声を聴く」 (講演会・ビデオ上映)	北朝鮮によるミサイル発射実験 教育基本法改正、認定こども園設置法施行 次世代育成支援担当部を新設(区) 発達障害等相談・療育経費助成制度実施(区) 九段中等教育学校開校(区) 安全・安心メール運用開始(区) 子どもの安全・安心一斉パトロール実施(区) 保護者・地域による「まちかど見守り隊」が全小学校で始動(区) 特別支援教育推進協議会設置(区) 学校連絡網メール配信システム導入(区) 各種いじめ対策実施(区)
平成19	ひがた探検事業開始 管外研修「なぜ、子どもたちに自然体験は必要か」 「筆子・その愛」映画上映会、「山田火砂子監督講演会」 管内研修「発達障がいを見守る会」「発達障がい理解セミナー」	新潟中越沖地震、青少年委員担当課、児童・家庭支援センター→育成・指導課へ(区) 少年法改正 「千代田区子育て応援ガイドブック」発行 放課後子ども教室(学び)、全小学校で開始(区) 保育園・児童館連絡網メール配信システム稼働(区) 次世代育成の理念を考える検討会議設置(区)
平成20	管外研修「千代田区の子どもたち」「保健室から見た子ども達の心と体」 管内研修「発達障がい」講演会とシンポジウム「上野一彦先生による特別座談会」	秋葉原通り魔事件、北京五輪開催、青少年委員担当課、育成・指導課→こども総務課へ(区) 文部科学省、「スクールソーシャルワーカー活用事業」開始 発達支援・特別支援教育推進協議会設置(区)
平成21	ポニー乗馬会開始 管内研修「自閉症に関する勉強会」 ブロック研修当番区「我が相撲人生～継続こそ力なり」 管外研修「保健所？ご存知ですか？」「安全対策～救命救急講習・応急手当とAEDの使い方」	新型インフルエンザ流行 青少年インターネット環境整備法施行
平成22	管外研修「中学生・高校生の健全育成 リーダー育成」 千代田区立中学校・中等教育学校主催生徒会交流会に参加	尖閣諸島中国漁船衝突事件 富士見みらい館開設(区) 千代田区共育マスタープラン策定
平成23	管外研修「学生ボランティア」 発達障がい児の『きょうだい』への理解と支援を考える座談会	東日本大震災、サッカー女子ワールドカップで日本初優勝 スクールライフサポーターを小学校に配置(区) 発達支援における療育事業検討会設置、検討開始(区)
平成24	管外研修「変遷とキーワードから見る教育の方向性」 ブロック研修当番区「思春期のこころとからだ・・・いまどきの子ども達の性」 子ども発達センター「さくらキッズ」を見学	東京スカイツリー開業、ロンドン五輪開催 子ども発達センター「さくらキッズ」オープン(区)
平成25	管外研修「発達障がい」～基礎からかわり、そしてその先へ～ 管内研修「千代田区の発達支援・特別支援教育を知る」 青少年委員だより第43号に60周年記念の特集を掲載	富士山が世界文化遺産に登録される 2020年夏季五輪開催都市が東京に決定 子どもの遊び場に関する基本条例施行(区) いじめ相談ホットラインの24時間対応を開始(区) 中学校版スクールライフサポーター配置(区) 青少年委員制度発足60周年



新旧青少年委員懇談会

平成25年7月24日(水) 18:30～
九段生涯学習館6階ホール

今年は青少年委員制度発足60周年に当たります。この節目の年に半数近くの新しい委員の啓蒙も兼ねて、最近10年間の委員会の活動状況やイベントに込められた諸先輩委員の思いをお聞きしました。発達障がい児を理解するための勉強会を行うようになったいきさつや千代田区の子ども達に沢山の自然体験をして欲しい気持ち、情緒が安定するポニーとのふれあいイベントを開くことになった経緯など、どの先輩委員も当時の情熱を思い出して熱心に語って下さいました。私達も後輩委員としてその思いを次の世代に繋げて行かなければとの思いを新たにしたい懇談会になりました。